



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月3日

上場会社名 株式会社ダイイチ
 コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画IR部担当 (氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155 - 38 - 3456

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	31,975	5.7	1,495	27.7	1,505	27.3	986	58.4
2019年9月期第3四半期	30,241	0.7	1,171	17.2	1,182	17.8	622	2.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	86.34	
2019年9月期第3四半期	54.50	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	19,006	12,417	65.3
2019年9月期	18,288	11,583	63.3

(参考)自己資本 2020年9月期第3四半期 12,417百万円 2019年9月期 11,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		13.00	13.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	2.5	1,747	30.1	1,750	29.0	1,125	50.0	98.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	11,438,640 株	2019年9月期	11,438,640 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	12,088 株	2019年9月期	12,088 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	11,426,552 株	2019年9月期3Q	11,426,552 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化や消費税率の引き上げに加え、年明け以降は新型コロナウイルスの感染症の影響により、経済活動が大幅に落ち込み、極めて厳しい状況が続いております。

スーパーマーケット業界は、消費税増税による消費の減速に加え、消費者の将来不安に対する「生活防衛志向」の高まり、ネット通販やドラッグストアなど業種・業態の枠を越えた競争の激化などにより、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境のもとで当社は、これまで通り食品スーパーマーケット事業に資源を集中し、当事業年度の重点実施事項である「既存店の改装とスクラップ&ビルドの推進」、「消費税増税対策と競合店動向調査の強化」、「人手不足への対応と人時売上高の精度向上」、「オペレーションの改善と発注制度の見直し」、「粗利益率の低い店舗の底上げ」、「階級別による人材教育の実践」、「コンプライアンスの徹底と福利厚生の実施」、「イトーヨーカ堂との共同販促の更なる深堀り」を徹底し、お客様の更なる信頼と支持を得るため、新鮮かつ安全で安心なお買い得商品やお客様の期待に沿える付加価値の高い商品の提供に努め、地域のお客様の食文化と食のライフラインに貢献できる店舗作りに取り組んでまいりました。加えて、商品力の向上と販売力の強化及び既存店舗の改装を継続し、競争力のある店舗フォーマットの確立に注力してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、緊急事態宣言に伴う休校や外出の自粛などによる「巣ごもり消費」の拡大により、一部の日用品や食料品にまとめ買いの動きが見られ、一時的に売上高が増加いたしました。また、新型コロナウイルス感染症への対応として、お客様と従業員の安全・安心対策を最優先に、衛生管理の徹底を図り、食のライフラインとしての役割を担うため、一部店舗で営業時間を短縮したものの全店舗の営業を継続いたしました。

また、地域貢献活動の一環として、毎日の買い物に苦勞されているご高齢者の方やお身体の不自由な方々に商品をお届けする「移動スーパー（とくし丸）」事業は、6月末現在で8号車となりました。

店舗の状況につきましては、既存店の強化と活性化を図るため、「西店（3月、旭川ブロック）」と「老号店（4月、帯広ブロック）」の改装を実施いたしました。また、経営資源の有効活用のため、戦略的に「豊岡店（3月、旭川ブロック）」を閉店いたしました。

イトーヨーカ堂との協働につきましては、セブンプレミアム商品の取り組み強化と帯広地区及び旭川地区における共同販促の更なる推進に努めました。また、セブン&アイグループ内で構成するスーパーマーケット連絡協議会を「白樺店（帯広ブロック）」で開催し、店舗クリニックと意見交換会によるシナジーの共有化を図りました。

売上高につきましては、消費税増税に伴うキャッシュレス還元制度への対応や商品の一部に反動減が見られたものの、ポイントカードを活用した販売促進や週間の販売計画に連動した売場作りなどにより、総じて堅調に推移し、前年同期に比べ5.7%増となりました。また、地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは140億18百万円（前年同期比6.9%増）、旭川ブロックは97億44百万円（前年同期比2.8%増）、札幌ブロックは82億9百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

売上総利益率につきましては、商品調達コストの見直しや在庫効率の改善、店舗規模に合わせた商品政策の再構築などにより、前年同期に比べ0.1ポイント改善し、24.9%となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、総額では増加したものの、売上高に対する比率は21.6%となり、前年同期に比べ0.7ポイント改善いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は319億75百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は14億95百万円（前年同期比27.7%増）、経常利益は15億5百万円（前年同期比27.3%増）、四半期純利益は9億86百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ7億17百万円増加の190億6百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加14億10百万円等に対し、その他の減少2億4百万円及び商品及び製品の減少76百万円等により、前事業年度末に比べ11億58百万円増加の65億82百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産の建物の減少2億13百万円、その他の減少1億46百万円及び長期貸付金の減少53百万円等により、前事業年度末に比べ4億40百万円減少の124億23百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ1億16百万円減少の65億88百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加56百万円、賞与引当金の増加37百万円及びその他の増加37百万円等に対し、1年内返済予定の長期借入金の減少68百万円により、前事業年度末に比べ89百万円増加の50億7百万円となりました。固定負債においては、退職給付引当金の増加22百万円等に対し、長期借入金の減少1億18百万円及びその他の減少1億17百万円により、前事業年度末に比べ2億5百万円減少の15億81百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ8億34百万円増加の124億17百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加8億37百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は65.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。なお、今後の業績に与える影響につきましては、合理的に予測することが困難なため、最近の業績動向を踏まえて、2019年11月5日発表の業績予想を修正いたします。

2020年9月期通期業績予想数値の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,664	1,363	1,364	880	77.07
今回修正予想 (B)	41,500	1,747	1,750	1,125	98.52
増減額 (B) - (A)	835	383	385	245	21.45
増減率 (%)	2.1	28.1	28.2	27.8	27.8
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	40,470	1,342	1,356	750	65.67

なお、通期の業績予想に対する第3四半期累計期間の実績の進捗状況は以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想 (A)	41,500	1,747	1,750	1,125	98.52
第3四半期実績 (B)	31,975	1,495	1,505	986	86.34
進捗率 (%) (B)/(A)	77.1	85.6	86.0	87.6	87.6

当第3四半期累計期間における営業利益以下の進捗率は高めとなっております。なお、第4四半期において、2店舗の増床リニューアルに伴う休業と一時的費用の発生、機器の更新や店舗設備の修繕費用等が見込まれます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,578,187	4,988,927
売掛金	525,229	554,057
商品及び製品	910,030	833,937
原材料及び貯蔵品	2,204	1,313
その他	410,129	205,929
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	5,424,281	6,582,664
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,008,839	3,795,388
土地	6,070,442	6,060,129
その他(純額)	848,723	702,037
有形固定資産合計	10,928,005	10,557,556
無形固定資産		
その他	14,490	14,490
無形固定資産合計	14,490	14,490
投資その他の資産		
長期貸付金	854,307	800,594
その他	1,067,627	1,051,346
投資その他の資産合計	1,921,935	1,851,940
固定資産合計	12,864,431	12,423,987
資産合計	18,288,713	19,006,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,502,786	2,559,343
1年内返済予定の長期借入金	231,451	162,635
未払法人税等	258,979	285,516
賞与引当金	167,804	205,692
その他	1,757,229	1,794,239
流動負債合計	4,918,251	5,007,426
固定負債		
長期借入金	151,334	32,662
退職給付引当金	621,592	643,985
役員退職慰労引当金	158,946	166,644
資産除去債務	16,817	16,980
その他	838,009	720,977
固定負債合計	1,786,699	1,581,249
負債合計	6,704,950	6,588,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	8,392,698	9,230,691
自己株式	△2,980	△2,980
株主資本合計	11,595,070	12,433,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,308	△15,087
評価・換算差額等合計	△11,308	△15,087
純資産合計	11,583,762	12,417,976
負債純資産合計	18,288,713	19,006,651

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	30,241,322	31,975,998
売上原価	22,734,611	23,999,388
売上総利益	7,506,710	7,976,610
営業収入	417,597	431,846
営業総利益	7,924,308	8,408,457
販売費及び一般管理費	6,753,300	6,913,211
営業利益	1,171,008	1,495,245
営業外収益		
受取利息	5,726	5,069
受取配当金	2,618	2,640
その他	8,521	5,212
営業外収益合計	16,866	12,922
営業外費用		
支払利息	3,680	1,524
その他	1,369	884
営業外費用合計	5,049	2,409
経常利益	1,182,825	1,505,759
特別損失		
固定資産売却損	—	4,521
固定資産除却損	41,082	53,568
減損損失	225,629	—
災害による損失	2,700	—
キャッシュレス還元対策費用	—	14,049
特別損失合計	269,412	72,139
税引前四半期純利益	913,413	1,433,619
法人税、住民税及び事業税	348,238	451,535
法人税等調整額	△57,577	△4,454
法人税等合計	290,661	447,081
四半期純利益	622,752	986,538

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。